



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月28日

上場会社名 兼松サステック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7961 URL <http://www.ksustech.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高崎 實
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役本社部門統轄 (氏名) 榎谷 修司 TEL 03-6631-6600
 四半期報告書提出予定日 2021年1月29日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	8,768	△11.7	573	△22.1	620	△23.7	398	△27.0
2020年3月期第3四半期	9,928	0.5	736	14.3	812	15.2	545	17.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 392百万円 (△27.8%) 2020年3月期第3四半期 543百万円 (16.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	96.09	—
2020年3月期第3四半期	131.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	11,142	8,138	73.0
2020年3月期	10,987	7,954	72.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 8,138百万円 2020年3月期 7,954百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—		
2021年3月期（予想）				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△15.3	640	△30.3	700	△31.1	440	△36.7	106.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	4,149,200株	2020年3月期	4,149,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	4,566株	2020年3月期	4,516株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	4,144,646株	2020年3月期3Q	4,144,816株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊急事態宣言の解除後、政府の景気刺激策の効果や海外経済の改善もあり、一部では景気の持ち直しの動きもみられましたが、冬季にかけて新型コロナウイルス感染症の再拡大により再度行動制限が導入されるなど、先行きは不透明感が高まっております。

このような状況の中、当社グループの主な事業分野であります住宅関連業界におきましても、戸建て住宅を中心に新設住宅着工戸数は引き続き減少傾向であり、依然として厳しい状況が続きました。しかしながら、当社グループは、非住宅分野への販売強化や製造体制の構築などの改善により業務効率の向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は87億6千8百万円(前年同期比11.7%減)、営業利益は5億7千3百万円(前年同期比22.1%減)、経常利益は6億2千万円(前年同期比23.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億9千8百万円(前年同期比27.0%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

ジオテック(地盤改良)事業

地盤調査や地盤改良工事の販売、当社独自の高耐久性を有した木製パイルを施工材料とする「環境パイル工法」の販売および自社開発の地盤改良関連技術や関連する部材等の販売は、新設住宅着工戸数の減少を受け、いずれも減少いたしました。売上高は39億7千4百万円(前年同期比6.9%減)、営業利益は1億8千5百万円(前年同期比13.2%減)となりました。

非住宅分野については案件も増加してきており、更なる営業強化を図る為に、施工管理業務の改革を進めております。

木材加工事業

新設住宅着工戸数の減少をうけ、保存木材の生産および販売数量は前年同期比減少いたしました。また、保存処理薬剤の販売も顧客の稼働低下等の影響から減少いたしました。売上高は24億2千5百万円(前年同期比21.5%減)、営業利益は1億5千9百万円(前年同期比45.3%減)となりました。

新設した茨城工場(茨城県常総市)は、2020年11月より稼働を開始しております。

セキュリティ機器事業

監視カメラ等の販売は、営業活動の制限は若干緩和されてきていますが、先のコロナ禍の影響により、機器の販売および工事件数が減少したことから、売上高は19億9千2百万円(前年同期比3.4%減)、営業利益は1億6千3百万円(前年同期比7.5%減)となりました。

石油製品事業

ガソリン消費の減少傾向が続く環境下、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛、企業活動の抑制から燃料油の販売数量は前年同期比減少しました。ガソリンスタンド店頭での燃料販売が減少するなか、第2四半期に引き続き、フルサービスによる顧客満足の向上および燃料油の配達業務に注力をした結果、売上高は3億7千6百万円(前年同期比25.9%減)となりましたが、営業利益は5千8百万円(前年同期比24.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は111億4千2百万円であり、前連結会計年度末と比較して1億5千5百万円増加いたしました。

流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等により7億9千5百万円減少いたしました。固定資産は、土地、建物及び構築物や機械装置及び運搬具の増加により9億5千万円増加いたしました。

流動負債は、支払手形及び買掛金の増加等により4千2百万円増加いたしました。固定負債は、退職給付に係る負債、商品保証引当金の減少等により7千1百万円減少いたしました。

純資産は、四半期純利益3億9千8百万円の計上等により前連結会計年度末から1億8千4百万円増加し、81億3千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年7月30日発表の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,881	3,538
受取手形及び売掛金	2,242	1,943
商品及び製品	935	769
原材料	414	395
その他	108	139
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	7,579	6,784
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	216	711
機械装置及び運搬具(純額)	233	502
土地	619	1,011
リース資産(純額)	10	11
建設仮勘定	176	—
その他(純額)	19	48
有形固定資産合計	1,277	2,284
無形固定資産		
ソフトウェア	160	143
その他	18	64
無形固定資産合計	179	207
投資その他の資産		
投資有価証券	79	88
繰延税金資産	270	184
投資不動産	1,449	1,443
その他	154	153
貸倒引当金	△2	△4
投資その他の資産合計	1,951	1,865
固定資産合計	3,407	4,358
資産合計	10,987	11,142

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,623	1,766
リース債務	5	4
未払法人税等	199	10
賞与引当金	231	109
役員賞与引当金	17	—
その他	306	535
流動負債合計	2,383	2,426
固定負債		
リース債務	6	8
退職給付に係る負債	215	165
商品保証引当金	333	299
資産除去債務	10	20
その他	82	83
固定負債合計	649	577
負債合計	3,032	3,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,325	3,325
資本剰余金	1,146	1,146
利益剰余金	3,482	3,673
自己株式	△7	△7
株主資本合計	7,947	8,138
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	6	△0
その他の包括利益累計額合計	7	0
純資産合計	7,954	8,138
負債純資産合計	10,987	11,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	9,928	8,768
売上原価	7,264	6,239
売上総利益	2,664	2,529
販売費及び一般管理費	1,927	1,955
営業利益	736	573
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	5	2
受取賃貸料	66	65
その他	22	10
営業外収益合計	96	80
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	14
賃貸費用	19	19
その他	1	0
営業外費用合計	20	34
経常利益	812	620
特別利益		
固定資産売却益	2	1
持分変動利益	2	—
特別利益合計	4	1
特別損失		
固定資産除却損	—	6
特別損失合計	—	6
税金等調整前四半期純利益	817	615
法人税、住民税及び事業税	217	127
法人税等調整額	54	89
法人税等合計	271	217
四半期純利益	545	398
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	545	398

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	545	398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
繰延ヘッジ損益	△1	△6
その他の包括利益合計	△2	△6
四半期包括利益	543	392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	543	392
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジオテック	木材加工	セキュリティ 機器	石油製品	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	4,267	3,090	2,062	508	9,928	—	9,928
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	823	—	32	856	△856	—
計	4,267	3,914	2,062	541	10,785	△856	9,928
セグメント利益	213	290	177	47	729	7	736

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去7百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日至2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジオテック	木材加工	セキュリティ 機器	石油製品	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,974	2,425	1,992	376	8,768	—	8,768
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	732	—	23	756	△756	—
計	3,974	3,157	1,992	400	9,524	△756	8,768
セグメント利益	185	159	163	58	567	6	573

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去6百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比べ、研究開発施設の建設により、「ジオテック」のセグメント資産の金額は272百万円、「木材加工」のセグメント資産の金額は645百万円増加しております。また、茨城工場の新設により、「木材加工」のセグメント資産の金額は305百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。